

大学院国際協力研究科 国際開発専攻講演会のお知らせ

消費税のあるべき姿と 法人税の将来

知原 信良 教授

国際協力研究科国際開発専攻では学位論文の内容によって税理士試験の試験科目免除制度を利用することが可能です。

日時：11月27日(水) 午後12時50分～
(入試説明会終了後)

場所：八王子キャンパス・D棟4階 417教室

*** どなたでも参加できます。【入場無料】**

消費税率が来年4月から8%に引き上げられます。さらに2015年10月には10%になる予定です。消費税はさらに上がっていくのでしょうか。日本の消費税のあるべき姿、その課題を探ります。他方、企業活動にとって影響の大きい法人税は、将来どんな姿になっていくのでしょうか。消費税と法人税の将来像を併せて考えてみます。

知原 信良 教授

1978年 東京大学経済学部卒。
大蔵省入省。
アフリカ開発銀行日本代表理事、大蔵省主税局課長補佐、大蔵省関東財務局部長、金融庁国際担当参事官、国税不服審判所次長などを歴任後
2012年杏林大学総合政策学部教授。

問合せ先：八王子キャンパスD棟大学院教務課
メール kenkyuc@ks.kyorin-u.ac.jp

TEL 042-691-0011(代表)